会計名等	土地建物造成事業特別会認	†		設置目的	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑	骨な事業実施を	:行う。	
	歳入	平成31年度	平成30年度	増減	歳出	平成31年度	平成30年度	増減
	1 事業収入(土地売払収入)	23, 335	41, 792	△ 18, 457	1 総務費	1	1	0
	2 国庫支出金	4, 500	1,575	2, 925	2 事業費	13, 045	6, 200	6, 845
	3 財産収入	3	3	0	つつじが丘団地宅地分譲事業	3, 045	2, 700	345
					定住促進奨励金交付事業	10,000	3, 500	6, 500
					3 公債費	300	37, 125	△ 36,825
					4 予備費	14, 492	44	14, 448
予算								
	<u></u>	27, 838	43, 370	△ 15, 532	合 計	27, 838	43, 370	△ 15, 532
予算概要 (予算の特徴)	定住促進のため、つつじが丘団地 〇U I ターンサポートセンター ○定住促進奨励金 10,000千円	と一体的に販売		3,045千円				
備 考 (特記事項)	○つつじが丘団地造成事業にお ○平成17年からの販売価格につ 37区画、7,941.7㎡、309,0 (1区画当たり平均39千円/	いて、不動産鑑 009千円の価格を	監定評価額に 172,680千円	合わせて変す	Į.			
	【1 四回日にサー約09111/	111 7 22 1/.	111 /					

平成31年度当初予算 事業等説明資料

会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な ぎを行う。	で運営を確保し、	、被保険者に	こ必要な保険	給付、保任	建事
	歳入	平成31年度	平成30年度	増 減	歳出	Σ	平成31年度	平成30年度	増減	į
	1 国民健康保険税	409, 557	375, 254	34, 303	1 総務費		30, 544	34, 064	△ 3,	520
	2 使用料及び手数料	200	300	△ 100	2 保険給付費		1, 592, 801	1, 737, 432	△ 144,6	631
	3 府支出金	1, 614, 615	1, 759, 921	△ 145, 306	(項)療養諸費		1, 399, 126	1, 530, 072	△ 130,9	946
	(節)普通交付金	1, 580, 152	1, 724, 709	△ 144, 557	3 国民健康保険事業費納付	金	538, 221	502, 848	35,	373
	(節)特別交付金	34, 463	35, 212	△ 749	4 保健事業費		37, 124	36, 921	2	203
予算	4 財産収入	16	119	△ 103	5 基金積立金		16	119	Δ	103
」/ 昇	5 繰入金	172, 161	176, 910	△ 4,749	6 公債費		50	1		49
	6 繰越金	1	1	0	7 諸支出金		2,004	2, 103	Δ	99
	7 諸収入	5, 055	2, 155	2, 900	8 予備費		845	1, 172	Δ;	327
	숌 計	2, 201, 605	2, 314, 660	△ 113, 055	合 計		2, 201, 605	2, 314, 660	△ 113, 0	055
	国保制度の都道府県単位化(H30 ⁴ 事業の運営を図る。	∓度~)によ	り、財政運営	営責任を担うり	守が算定した国保事業費組	内付金及び標準	準保険税率	に基づき、ì	適切な国	 保
予算概要 (予算の特徴)	○歳入においては、保険給付費の減 ○歳出においては、被保険者数の減 本市被保険者のシェア割合の増等 ○被保険者の健康増進等を図るため	及び1人当た により国保事	り医療費の源	載により保険約 を7.0%増	合付費を8.3%減、府全体の	01人当たり医	療費の増及			進
	・1人当たり医療費は減少に転じる見込	み [H29]	396,777	7円 [H30見込] 404,729円(+2.0%)	[H31見込]	394,346₽	∃ (△2.6%)		
備 考 (特記事項)	・被保険者数(平均)は引き続き減少する	る見込み [H29]	5,075	5人 [H30見込	1,922人 (△3.0%)	[H31見込]	4,740 <i>)</i>	(△3.7%)		
(11100平久)	• 国保事業基金残高	[H297	╞] 118,180千	· 円 [H30末見) 150 500 T.M.	[H31末見込]	150,615千円	7		
	口杯手术伍亚/人間	[11237	110,100	11 [1100 / 元	込] 150,599千円		150,015 [1		

会計名等	後期高齢者医療特別会計				原則75歳以上の高齢 京都府後期高齢者医療 度の安定的な運営を図	療広域連合と本市が			
予算	歳 入 1 保険料 2 使用料及び手数料 3 繰入金 4 繰越金 5 諸収入 △ 国庫支出金 合 計	平成31年度 230, 352 10 96, 464 100 3, 036	218, 716 10 93, 346 100 2, 118 169	増減 11,636 0 3,118 0 918 △ 169	歳 1 総務費 2 後期高齢者医療が 3 保健事業費 4 諸支出金 5 予備費 合	出 広域連合納付金 計	平成31年度 2,614 322,941 3,507 600 300	平成30年度 2,949 307,995 2,415 600 500 314,459	増減 △ 335 14,946 1,092 0 △ 200 15,503
予算概要 (予算の特徴)	京都府後期高齢者医療広域連合か ○歳入においては、被保険者数の増 ○歳出においては、保険料等負担金 医療広域連合納付金を4.9%増	曽等により保険	険料を5.3%増			の保険料軽減に係	る負担分)の)増により後	期高齢者
備 考 (特記事項)	・被保険者数は引き続き増加 宮津市の被保険者数(年度末) [F 府全体被保険者数の伸び率 [F ・31年度は、保険料率の改定なし	+3.8%		1,229人(+1. +2.8%	1%)[H31見込] 4,347』 [H31見込] +2.8	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,)		

平成31年度当初予算 事業等説明資料

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。						
	歳 入	平成31年度	平成30年度	増減	歳出	平成31年度	平成30年度	増減			
	1 保険料	565, 722	586, 526	△ 20,804	1 総務費	62, 894	67, 616	△ 4, 722			
	2 使用料及び手数料	31	31	0	2 保険給付費	2, 607, 147	2, 768, 481	△ 161, 334			
	3 国庫支出金	716, 138	773, 847	△ 57, 709	(項)介護サービス等諸費	2, 356, 198	2, 478, 478	△ 122, 280			
	4 支払基金交付金	735, 678	779, 256	△ 43, 578	(項)介護予防サービス等諸費	71, 382	74, 127	△ 2, 745			
	5 府支出金	418, 822	445, 555	△ 26, 733	3 地域支援事業費	176, 733	177, 648	△ 91			
予算	6 財産収入	8	30	△ 22	(項)介護予防・生活支援サービス事業費	115, 976	114, 399	1, 57			
)′ 昇	7 繰入金	439, 131	445, 247	△ 6, 116	(項)一般介護予防事業費	1, 315	2, 958	△ 1,643			
	8 繰越金	1	1	0	(項)包括的支援事業・任意事業費	59, 144	59, 991	△ 84′			
	9 諸収入	6	7	Δ1	4 基金積立金	8	30	△ 2:			
					5 公債費	100	1	99			
					6 諸支出金	1, 003	1,003	(
					7 予備費	27, 652	15, 721	11, 93			
	合 計	2, 875, 537	3, 030, 500	△ 154, 963	合 計	2, 875, 537	3, 030, 500	△ 154, 96			
予算概要 (予算の特徴)	・保険給付費は、平成31年度の消費 対前年度比5.8%の減。・地域支援事業費は、介護者慰労金				曽額改定による増額、特別養護老人ホ 前度比0.5%の減。	ームの休止等	等による減額	- iにより			
	【65歳以上高齢者数】平成30年12月末現在 7,354人 対前年同月比85人減 (1.1%減) 高齢化率40.8% (対前年同月比0.2ポイント増) 【75歳以上 " 】 " 4,137人 " 27人減 (0.6%減) 【要介護等認定者数】 " 1,902人〔要支援665人、要介護1,237人〕対前年同月比35人増 (1.9%増)事業対象者18人 「推域支援事業】										
備 考 (特記事項)	【75歳以上 " 】 " " 【要介護等認定者数】 " 【地域支援事業】 介護予防・日地域包括ケア	4,13 1,90 常生活支援総 システム(在	7人 2人〔要支援 8合事業(訪 E宅医療・介語	同月比85人》 リ 27人》 665人、要介 問型・通所型 養連携の推進	或(0.6%減) 護1,237人〕対前年同月比35人増(1. サービス、一般介護予防事業など)の 、生活支援体制の整備など)の推進	9%増)事業 0実施)			

会計名等	介護予防支援事業特別会	計		設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対	するケアプラン	の作成等を行	う。
	歳入	平成31年度	平成30年度	増 減	歳出	平成31年度	平成30年度	増減
	1 サービス収入	9, 376	8, 312	1, 064	1 総務費	6, 833	6, 138	6
	2 繰越金	9,000	9, 000	0	2 事業費(介護予防支援事業費)	1, 335	2, 402	△ 1,0
	3 諸収入	1	1	0	3 諸支出金	1,000	0	1, 0
予算					4 予備費	9, 209	8, 773	4
	合 計	18, 377	17, 313	1, 064	合計	18, 377	17, 313	1, 0
	・介護予防・日常生活支援総合					 ビスを利用) <	 への移行を経	7
予算概要 (予算の特徴)	作成数の増加が見込まれるたる	め、介護予防サー	-ビス計画費	収入は増加。	レしたが、平成31年度は、要支援認	定者数の増加に	こ伴うケアプ	ラン
	作成数の増加が見込まれるた。 ・介護予防・日常生活支援総合 「介護予防ケアプラン作成件数 ○南部圏域(宮津市地域包括」 平成31年度見込み:2,136 ○北部圏域(宮津北部地域包括 平成31年度見込み:660件 ※宮津北部地域包括支援センタ	め、介護予防サー 事業の介護予防ク (年間)〕 支援センター 平 6件(平成30年度 活支援センター 二(平成30年度見 一の運営費は委託	- ビス計画費 アアマネジメ - 成30年度職 見込み:1,9 平成30年度 込み:609件 E料として介	収入は増加。 ント業務に係 員体制:114 32件 平成2 職員体制:3 平成29年 護保険事業特	かしたが、平成31年度は、要支援認 系る事業費を介護保険特別会計で取 名(嘱託職員4名を含む)) 9年度実績:2,629件) 名 度実績:811 件)	定者数の増加にり扱うことから	こ伴うケアプ	ラン

平成31年度当初予算 事業等説明資料

	下水道事業特別会計			設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の	向上を図る。		
	歳入	平成31年度	平成30年度	増減	歳出	平成31年度	平成30年度	増減
	1 分担金及び負担金	12, 473	15, 314	△ 2,841	1 総務費	30, 611	12, 545	18, 066
	2 使用料及び手数料	277, 943	277, 405	538	2 事業費	518, 152	1, 002, 083	△ 483, 931
	下水道使用料(現年分)	275, 425	275, 835	△ 410	宮津湾流域下水道維持管理負担金	280, 971	287, 712	△ 6,741
	3 国庫支出金	46, 000	194, 000	△ 148,000	公共下水道施設整備事業	143, 400	614, 000	△ 470, 600
	4 繰入金	576, 864	618, 974	△ 42,110	宮津湾流域下水道建設負担金	41, 500	55, 000	△ 13,500
予算	一般会計繰入金	570, 500	612, 800	△ 42, 300	3 公債費	841, 469	853, 532	△ 12,063
	5 繰越金	10	10	0	市債償還元金	705, 297	698, 242	7, 055
	6 諸収入	60	13, 332	△ 13, 272	市債利子	136, 172	155, 290	△ 19, 118
	雑入 (消費税還付金)	0	13, 271	△ 13, 271	4 予備費	318	175	143
	7 市債	477, 200	749, 300	△ 272, 100				
	建設地方債	150, 700	474, 000	△ 323, 300				
	合 計	1, 390, 550	1, 868, 335	△ 477, 785	슴 計	1, 390, 550	1, 868, 335	△ 477, 785
予算概要 (予算の特徴)	に係る京都府への維持管理負担金及 ・下水道使用料(現年分)は、供料	とび建設負担金 目開始に伴う業	えも減となっ 所規接続を見	たことから、 込むものの、	定しており、施設整備事業費は大幅な 歳入歳出の総額は477,785千円の減と 人口減少等の影響により微減とした 導入、関係条例等の整備)を予算計上	こなっている。		域下水道
	に係る京都府への維持管理負担金及 ・下水道使用料(現年分)は、供兵 ・平成32年度からの公営企業会計の ・宮津市公共下水道計画における 計画面積:502.7ha 整備面積:475.6ha	なび建設負担金用開始に伴う業の適用に向けた を備状況(平成の区域につい	えも減となっ 所規接続を見 上経費(新会	たことから、 込むものの、 計システム 込み)	歳入歳出の総額は477,785千円の減と 人口減少等の影響により微減とした	さなっている。 。		域下水道

会計名等	休日応急診療所事業特別会	計		設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う	0		
	歳入	平成31年度	平成30年度	増 減	歳出	平成31年度	平成30年度	増 減
	1 診療収入	10, 700	9, 792	908	1 休日応急診療所費	19, 458		1, 402
	 2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	管理医師報酬等	1,567	1, 567	0
	3 繰入金	4, 755	4, 078	677	休日応急診療所管理運営事業	1, 111	1, 066	45
	4 繰越金	300	1, 300	△ 1,000	出務医師報酬	7, 694	7, 154	540
	5 諸収入(2町分担金)	6, 741	5, 824	917	休日応急診療所診療事業	9,086	8, 269	817
予 算					2 公債費	2, 539	2, 539	0
					市債償還元金	2,021	1, 954	67
					市債利子	517	584	△ 67
					3 予備費	500	400	100
	合 計	22, 497	20, 995	1, 502	合 計	22, 497	20, 995	1, 502
予算概要 予算の特徴)	・診療科目…内科、小児科 ・診療医師…一般社団法人与謝医師 ・看護師…臨時(6名 2名ずつ出務 ・医事事務…民間事業者に委託 ・診療日…日曜日、祝日、年末年始	5)						
		• <i>F</i> . =\ \ \ \ \ \ =\ \ \ \ \ \ =\ \ \ \ \ \	豊に係る起信	僧環期間は立	平成37年度まで。			
備 考 (特記事項)	・平成8年6月から診療開始。休日応 ・休日応急診療所事業費分担金内部	急診療所整備 と 宮津市…4	, 755千円、信	尹根町…903=	千円、与謝野町…5,838千円			

平成31年度当初予算 事業等説明資料

会計名等	財産区特別部		設置目的	各財産区の	円滑な運営	を図る。							
	財産区	予算規模				主な	歳入			主 な 歳 出			
	別 <u>生</u> 区 	平成31年度	平成30年度	増減	項目	平成31年度	平成30年度	増減	項目	平成31年度	平成30年度	増 減	
	上宮津財産区	16, 599	14, 149	2, 450	財産収入	2, 880	1, 330	1, 550	造林事業費	11, 489	11, 489	0	
	由良財産区	492	392	100	財産収入	91	91	0	総務費	94	94	0	
	栗田財産区	707	527	180	財産収入	206	206	0	総務費	291	311	△ 20	
	吉津財産区	6, 507	5, 914	593	財産収入	606	613	△ 7	造林事業費	5, 340	5, 340	0	
予算	世屋財産区	157	157	0	財産収入	86	86	0	総務費	150	150	0	
	養老財産区	996	573	423	財産収入	137	172	△ 35	総務費	891	468	423	
	日ヶ谷財産区	252	252	0	財産収入	51	51	0	総務費	79	79	0	
		25, 710	21, 964	3, 746		4, 057	2, 549	1, 508		18, 334	17, 931	403	
						-							
予算概要(予算の特徴)	上宮津財産区(施し、森林資源の・分収造林事等・直営林造林事・工事請負費 ・工事請負費 ・直営林造林事・工事請負費	D保全、水源	かん養及びご 千円 (間伐望 千円 (A=8.0 千円 林造林事業を	上砂流出の原 等) Dha 地拵え を実施し、柔	方備等に努め 、補植ヒノキ) 森林資源の伊	うるとともに、 R全、水源か/	被災した管	理通路の復	[旧を図る。		こ直営林造林	事業を実	
予算の特徴)	施し、森林資源の ・分収造林事 ・直営林造林 ・工事請負費 吉津財産区に	D保全、水源	かん養及びご 千円 (間伐望 千円 (A=8.0 千円 林造林事業を	上砂流出の原 等) Dha 地拵え を実施し、柔	方備等に努め 、補植ヒノキ) 森林資源の伊	うるとともに、 R全、水源か/	被災した管	理通路の復	[旧を図る。		こ直営林造林	事業を実 特8	

会計名等	水道事業会計		設置目的	安心・安全な	水を供給する。		
			7	Z成31年度	平成30年度	増減	
	収入			545, 831	535, 710	10,	121
	主な内訳	給水収益 長期前受金戻入 他会計補助金 (一般会計繰入金)		434, 775 70, 468 21, 846	435, 051 69, 506 22, 479		276 962 633
	3条予算 支出	他云引州功金 (放云引梾八金)		607, 140	602, 273		867
	(収益的収文)	原水及び浄水費 配水及び給水費 支払利息及び企業債取扱諸費		162, 986 50, 873 56, 299	143, 989 40, 551 62, 077	18, 10, \(\triangle \Delta 5, \)	997 322
予算	差引	スカ門心及し正未良状扱明貞		△61, 309	△66, 563	·	254
	収入			351, 581	274, 180	77,	
	主な内訳	企業債 出資金(一般会計繰入金)		304, 500 45, 922	215, 100 50, 374	89, · △4, ·	
	4 条予算 支出			529, 393	469, 291	60,	102
		拡張改良費 浄水場整備費 元金償還金		181, 272 137, 304 195, 757 △177, 812	186, 833 54, 151 182, 883 △195, 111	△5, 83, 12,	153 874
予算概要 (予算の特徴)	額の水準となっている。 支出においては、浄水場維 支差引(不足額)は、61,309千 【 4条予算(資本的収支)】 漏水多発区域の老朽管布部	傾向もあることから、今年度の収益を 持管理費の増、隔年で実施している 円の不足となっている。 な替(拡張改良費)や上宮津浄水場の 収支差引額(不足額)は177,812千円の	配管図の更」 大規模改修/	E等により、原水 が本格化すること	及び浄水費、配水及で	び給水費が増加し	た結果、収
備 考 (特記事項)	平成30年度末において石綿管 上宮津浄水場の大規模改修コ	での布設替が完了することから、平成 上事に着手中(平成30年度~平成37年	31年予算かり 度(予定))	っ漏水多発区域を	中心に老朽管の布設	替を計画的に実施	する。
担当部署	建設部 上下水道課 管理	 里係			TEL	45-1633	特 9